

令和元年度 第2回生駒市地域公共交通活性化協議会 分科会

議事概要

日 時 令和元年8月8日(木) 午前10時～正午

場 所 市役所4階 401・402会議室

出席者

(委員) 小紫会長(代理:山本副市長)、喜多副会長、森岡副会長、黒部委員、平岩委員、藤澤委員、松尾委員、山下委員、村上委員

(事務局) 生駒市(杉浦総務部長、澤井総務部次長、杉原防災安全課長、清水防災安全課課長補佐)、セントラルコンサルタント株式会社(岡本、橋本)

欠席者

(委員) 矢田委員

議 事

1 審議案件

(1) アンケート調査の実施に向けて

(2) 生駒市地域公共交通網形成計画における計画内容の方向性検討(案)

(3) その他

2 その他

(1) 今後の会議予定

(2) その他

配布資料

[資料1] アンケート調査票(案)

[資料2] 生駒市地域公共交通網形成計画における計画内容の方向性検討(案)

[参考資料1] 生駒市における公共交通ネットワーク

主な議事内容

1 審議案件

(1) アンケート調査の実施に向けて

○資料1に基づいて事務局から説明した。

○議長から、形成計画は、自家用車を持っていなくても市民がやりたいことができる環境を整備(活動機会の確保)するにはどうすればできるか、が検討の基本になる。市民がやりたいこと、できないことを調査し把握することがこのアンケートの趣旨である。市民個別に聞くより、自治連合会の方にご存知のことを知らせていただき把握してはどうかと考える。この内容で記入できるか、また、市民がやりたいことができるような環境が整っているかどうかわかるか等、改善するところがあれば指摘していただきたい。との発言があった。

○委員から、市民は行かなければならない場所は何らかの手段で行く、自分の趣味等ちょっと行きたいが行けないところで線を引かざるを得ない、そこをカバーする考えの方が良い。今からの時代認知症や引きこもりをなくすことに繋がる。との発言があった。

○議長から、必須の外出は市民の賛同が得られると思うが、例えばゴルフに行きたい等も含めるのかどうかは市民の合意による。どこまで個人の領域に属する外出に対して税で

支えて良いのか検討することは連携計画やこれからの形成計画の基本となる。こういうことが出来る公共交通を整備しましょう、何が出来れば良いのか、また、出来るようにしたいのかをはっきりさせる。アンケートのはじめにこのような見方をしていることを記載しても良い。との発言があった。

○アンケート内容について各委員からの主な発言

- ・アンケートは自治連合会各地区会長に聞いても実態はわからないので、コミバスが通っている地区に聞かざるを得ない。
- ・どこを調査するのか地区名を指定してもらえなければ回答できない。
- ・自分で回答できる所もあれば複数の自治会長に集まってもらう所もあり、地区によって方法が違ってくる。
- ・どういうことをアンケートで引き出したいのかわからない。
- ・各地区会長がその地区について回答できる内容ではない。
- ・どこの病院や買い物に行くか聞いても個人の意見でしか書けない。
- ・アンケート調査の目的とアンケート内容が乖離している。
- ・そもそもアンケートが必要なのか疑問で、必要性を感じていない。
- ・住んでいないところの地区はわからない。間違った情報を回答する恐れがある。
- ・アンケートをどうとるか、要領作る必要がある。
- ・コミバスを待っている地区に自治会としてケアできるかどうか含め聞いてはどうか。

○議長からの主な発言

- ・各地区会長がすべて回答できるとは思っていない。
- ・わかるところを書いてもらった方が良い。(推測でも良い。)
- ・各地区会長の想いや知っていることを整理し市全体像を把握したい。
- ・情報をコンパクトに出して欲しいというのがこのアンケートの趣旨である。
- ・連携計画でやり残しているもので出来るものは実施したいが、実施期間を1年とする、秋ぐらいまでには情報を知っておきたい。
- ・情報を取得する方法をどういうやり方でどういう聞き方をすれば良いか、また、こういうことなら聞けるということを教えて欲しい。
- ・アンケートでなくても情報が取れば良い。
- ・全員の意向はわからなくても聞いている範囲で回答いただければ様子はわかる。
- ・アンケート内容について現時点できっちりとできないが、内容の(3)～(5)は書けるのではないか。

○委員から、コミバスを待っている地区に対してどうするかを決めないといけないのではないか。との発言があった。

○議長から、2年後に別の計画になるわけではなく、今の計画をフォローして出来るものは実施する、出来ないものは次の計画に位置づける考えである、との発言があった。

○議長から、アンケートについて、内容を見直し各地区会長(委員)又はそれぞれの地区の状況を知っている方にできる範囲で回答(回答期限は8月末)してもらう方法で実施することについて了承を求めた結果、全委員が承認した。

(2) 生駒市地域公共交通網形成計画における計画内容の方向性検討(案)

- 資料 2 に基づいて事務局から説明した。
- 事務局から、形成計画策定のスケジュールについて、今年度と来年度で形成計画の内容を協議会で議論し、来年度末に策定する予定である。との報告を行った。
- 委員から、形成計画策定の中で生駒らしさをどう論議するかが大事。何を取り入れるのか、目標をはっきりさせなければ独自色が出てこない。との発言があった。
- 委員から、鉄道、バス等公共交通機関も乗降客が減少していることから、どう増やすか、どう市と連携していくかもう少し考えて欲しい。との発言があった。
- 議長から、鉄道会社も利用者数が減少し危機意識を持っている。駅にお客さんを集める工夫を自分達で考えている。乗り継ぎも含めて彼らの関心事でもあるのでこちらから提案していくことはあって良い。事業者と一緒に考えないといけない。との発言があった。
- 委員から、立地条件からいってもっと生駒に人が集まっても良い。高齢者をお客さんにしないといけない。まちづくりのために公共交通機関を活用するためには何かが必要である、という発想をもってもらえればまちづくりの核になっていくと思う。との発言があった。
- 委員から、現在、市では都市計画マスタープランを検討している。関連して公共交通機関をどう位置づけるか等連携しなければならない。との発言があった。
- 議長から、資料 2 では手段は書かれているが全体の目的が書かれていない。連携計画にある活動機会を確保するという根本は変わらない、これを打ち出すのは生駒の独自性になる。何を目指しているのかがわかってもらえるのが大事である。また、理念、やりたいことがはっきりしないとアイデアも出ない。形成計画もこれまでの理念を踏まえた形で検討したい。との発言があった。
- 委員から、ただ単に公共交通機関が走っているではなく、生駒のまちのイメージを組み込みながらバスが走っているとの考えが今後の論議に必要である。との発言があった。
- 議長から、今後は都市計画マスタープランや総合計画と連携していく必要がある。との発言があった。
- 事務局から、形成計画の検討において各計画とも同時並行で連携を図ることを考えている。との発言があった。
- 委員から、自動運転については議論しないのか。との発言があった。
- 議長から、自動運転で地域交通の問題が解決するのはもう少し後になると思う。当面何をするかというのが今のスタンスで、置き換わっていく移行の過程と考えている。との発言があった。

2 その他

(1) 今後の会議予定

- 事務局から、第 2 回協議会を 9 月 25 日（水）午後 3 時、市役所 403・404 会議室で開催する。との説明を行った。

(2) その他

- 特になし